

土木工学・建築学委員会 IRDR 分科会 第 24 期第 2 回分科会議事要旨

日時： 平成 30 年 5 月 22 日（火） 15:00-17:00

会場： 日本学術会議 5 階 5-C(1)(2)会議室

議題： 1. 前回議事要旨（案）の確認（資料 1）
2. IRDR 科学委員会等の最近の動向について（資料 2, 3）
3. 本年度の活動方針・計画について（追加資料）
4. 委員より報告（資料 4）
5. その他

出席者： 小池俊雄，春山成子，大手信人，川崎昭如，小松利光，小森大輔，斎藤大樹，
鈴木康弘，寶馨，高橋良和，多々納裕一，塚原健一，西嶋一欽，林春男（スカ
イプ参加），福井秀夫，緑川光正，望月常好，山岡耕春，山本佳代子

欠席者： 江守正多，沖大幹，桑野玲子，近藤昭彦，佐竹健治，新野宏，目黒公郎

（以上，敬称略）

議事要旨

1. 前回議事要旨（案）の確認（資料 1）

前回の議事要旨（案）について確認を行い、承認された。

また、今回から議事要旨を会議後 9 週間以内に公表することになったので、メーリングリス
トで確認後、委員長に一任で公表することが承認された。

2. IRDR 科学委員会等の最近の動向について（資料 2, 3）

- 第 20 回 IRDR 科学委員会は 10 月 15-18 日に成都（中国）で開催されることが決まった。
その際に New strategic plan が決まるのではないかと考えられる。10 月 15 日は closed
な会議，16-17 日は Synthesis に関するワークショップの予定。
 - 16-17 日の National Committee (NC) セッションに IRDR 分科会から参加すべきでは？
前回共同議長をやられた方は是非検討いただきたい。
 - 10 月に New strategic plan が決まれば，IRDR 分科会の活動予定が決まってくる。
- International Centres of Excellence (ICoE) は全部で 16 ある。
<http://www.irdrinternational.org/who-we-are/structure/icoes/>
 - 日本の機関の参加はまだないが，Synthesis の議論をする段階で日本の ICoE も何ら
かの形（たとえば機関ごとではなく，all Japan として）参加し支えていくことにな
ると考えている。
 - NC としての活動をしっかり担うことが重要。
- Belmont Forum から思ったより支援がない。昨秋よりトーンダウンした感がみられる。

3. 本年度の活動方針・計画について（追加資料）

- 第 22 期・第 23 期にて IRDR の Framework, Action まで進められたことより，第 24 期で

は IRDR 科学委員会の動向を踏まえ、2020 年までの IRDR の活動をフォローし、日本からの研究成果の「発信」を強化していく。また、2021 年から 2030 年までの構想について、IRDR-Japan からの提案策定を行う。

- そのために、国内外の国際会議を活用する。
 - AOGS 2018: 3-8 June 2018, ホノルル
 - Asian Ministerial Conference on Disaster Risk Reduction (AMCDRR): 3-6 July 2018, ウランバートル
 - AGU 2018: 10-14 December 2018, ワシントン DC
 - APHW 2018: 20-22(?) December 2018, ルールキー (インド)
 - 世界防災研究所サミット: 12-15 March 2019, 京大防災研究所
 - ✓ 理事改選とアドバイザー・ボードの設置
 - UNISDR Global Platform for DRR 2019: 13-17 May 2019, ジュネーブ
 - The UN Global Assessment Report on Disaster Risk Reduction 2019 (GAR 2019): May 2019
 - ✓ Abstract のべ切が 6/3。詳細は多々納裕一委員からのメール (IRDR 分科会メーリングリスト 00012) を参照。
- IRDR strategic plan を参照し、それへの対応を検討・実施する。
- IRDR-Japan Annual Report を創刊する。
 - 年末あたりに委員の IRDR 関連英語論文や活動をまとめる。
- IRDR-Japan Homepage を開設する。

4. 委員より報告

- 多々納裕一委員より、UNISDR Science and Technology Advisory Group (STAG) が 2017/12/11 にジュネーブで開催した会議について報告がされた (資料 4)。
- 大手信人委員より、Future Earth に関して公募は終わっていくつかの案件が JST で採択されたことが報告がされた。
- 春山成子委員より、IGU (国際地理学連) 2018 Regional Conference がケベック (カナダ) で開催 (8 月 6-10 日) されることが案内された。
- 小池俊雄委員より、2018 Asian Science and Technology Conference on DRR (北京, 17-18 April 2018) に関して報告がされた。
 - Nations Synthesis が Beijing Statements となり、小池俊雄委員が AMCDRR @モンゴルに参加し報告される。
- 小池俊雄委員より、防災推進国民大会 (2018/10/13-14, 東京) に関して紹介された。小池俊雄委員が、「IRDR 分科会」と「科学技術を活かした防災・減災政策の国際的展開に関する検討委員会」の協力で、企画を申請することとなった。企画案は両会の委員長・副委員長・幹事間で審議することとなった。

5. その他

- 予算獲得に関して幅広い議論がなされた。
 - 科研費（新学術領域研究）
 - 夢ロードマップ，大型研究
 - 災害科学に社会科学がない，社会実装ができていない
 - JICA 草の根事業
 - 民間会社の設立，企業連携
- 次回の分科会は夏に開催する。
 - 科研費（新学術領域研究）への申請案
 - 最近の動向報告
 - 防災推進国民大会